

# 尿酸降下薬とアンセリン併用の 有用性



両国東口クリニック  
帝京大学医学部内科

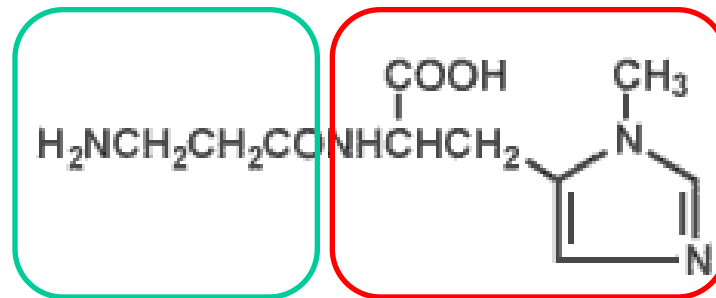
大山博司、大山恵子、諸見里仁  
藤森新

# 目的

尿酸降下作用が報告されているマグロ・カツオ由来のペプチドであるアンセリンを尿酸降下薬と併用した場合の有用性について検討した。

# アンセリン

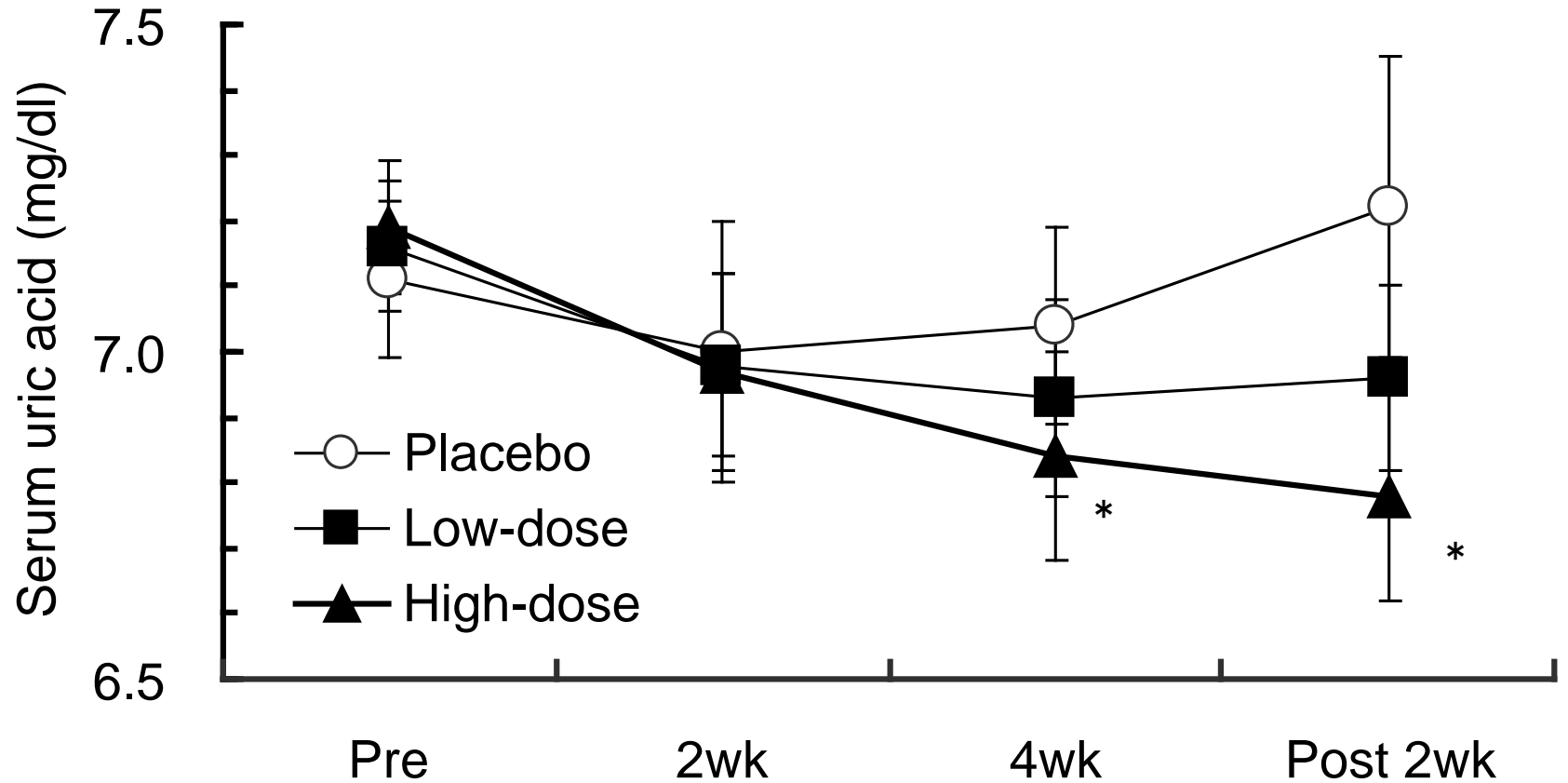
アンセリンは動物の筋肉中に含まれているアミノ酸が2つ結合したジペプチドで、海洋生物ではマグロ、カツオ、サケ、サメなど、陸上動物では鳥類の筋肉に多く含まれている。



β-アラニン

メチルヒスチジン

## 2重盲検比較試験の結果



Low-dose アンセリン25mg/day、High-dose アンセリン50mg/day

血清尿酸値が高めの成人男性を対象としたアンセリン摂取による血清尿酸値低減作用の検討試験(2008年)より

\* : P < 0.05 (事前に対して)

# 方法

尿酸降下薬にて治療中の痛風患者21例（ベンズブロマロン単独群12例、アロプリノール単独群4例、ベンズブロマロン・アロプリノール併用群4例、プロベネシド単独群1例）に尿酸降下薬と併用してアンセリン50mg/日を投与し、投与前、1ヶ月後、2ヶ月後、3ヶ月後の血清尿酸値を測定した。

# 対象

## 尿酸降下薬

ベンズブロマロン単独	12例
アロプリノール単独	4例
ベンズブロマロン、アロプリノール併用	4例
プロベネシド単独	1例

試験期間中の尿酸降下薬は一定として投与量の増減や変更は行っていない。

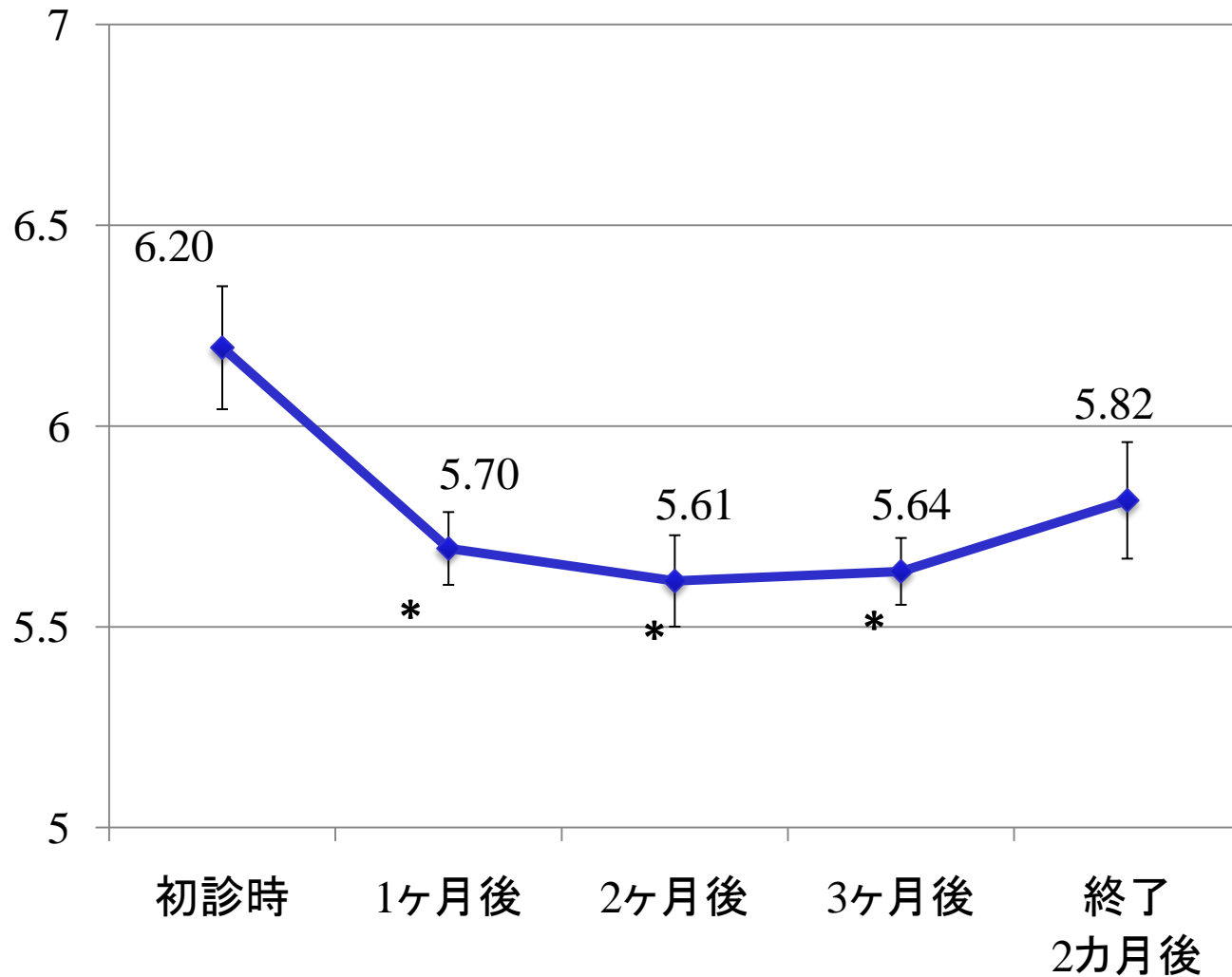
# 結果

	初診時	1ヶ月後	2ヶ月後	3ヶ月後
血清尿酸値 (mg/dL)	6.20±0.70	5.70±0.42 *	5.61±0.52 *	5.64±0.38 *
Uua (mg/dL)【随時尿】	34.71±22.25	43.57±26.24	45.67±30.14	49.90±23.32 *
Ucr (mg/dL)【随時尿】	79.24±48.90	97.05±57.19	107.00±61.80	126.95±65.47 *
uUA/uCr	0.47±0.13	0.47±0.16	0.46±0.18	0.43±0.16
FEUA(%)	6.14±1.47	6.95±2.56	6.88±3.06	6.55±2.01
尿pH	6.70±0.58	6.18±0.58	6.20±0.71	5.78±0.49
AST (IU/L)	26.00±7.84	24.29±9.49	27.00±17.62	25.10±12.70
ALT (IU/L)	30.14±15.68	27.38±15.45	30.00±21.53	29.14±21.71
γ-GTP (IU/L)	88.19±100.51	79.48±94.62	83.43±102.56	92.95±130.09
s-Cr (mg/dL)	0.83±0.14	0.84±0.16	0.85±0.19	0.86±0.16 **
BUN (mg/dL)	14.10±2.45	14.57±2.33	14.85±2.37	14.46±2.97
空腹時血糖 (mg/dL)	95.67±11.16	94.05±12.60	97.90±15.38	94.10±10.31
LDL-chol	125.57±29.01	122.48±29.06	126.48±32.54	117.86±30.67**
HDL-chol	58.71±11.90	58.14±12.77	59.62±12.19	57.57±14.15

\* :P<0.01

\*\* :P<0.05

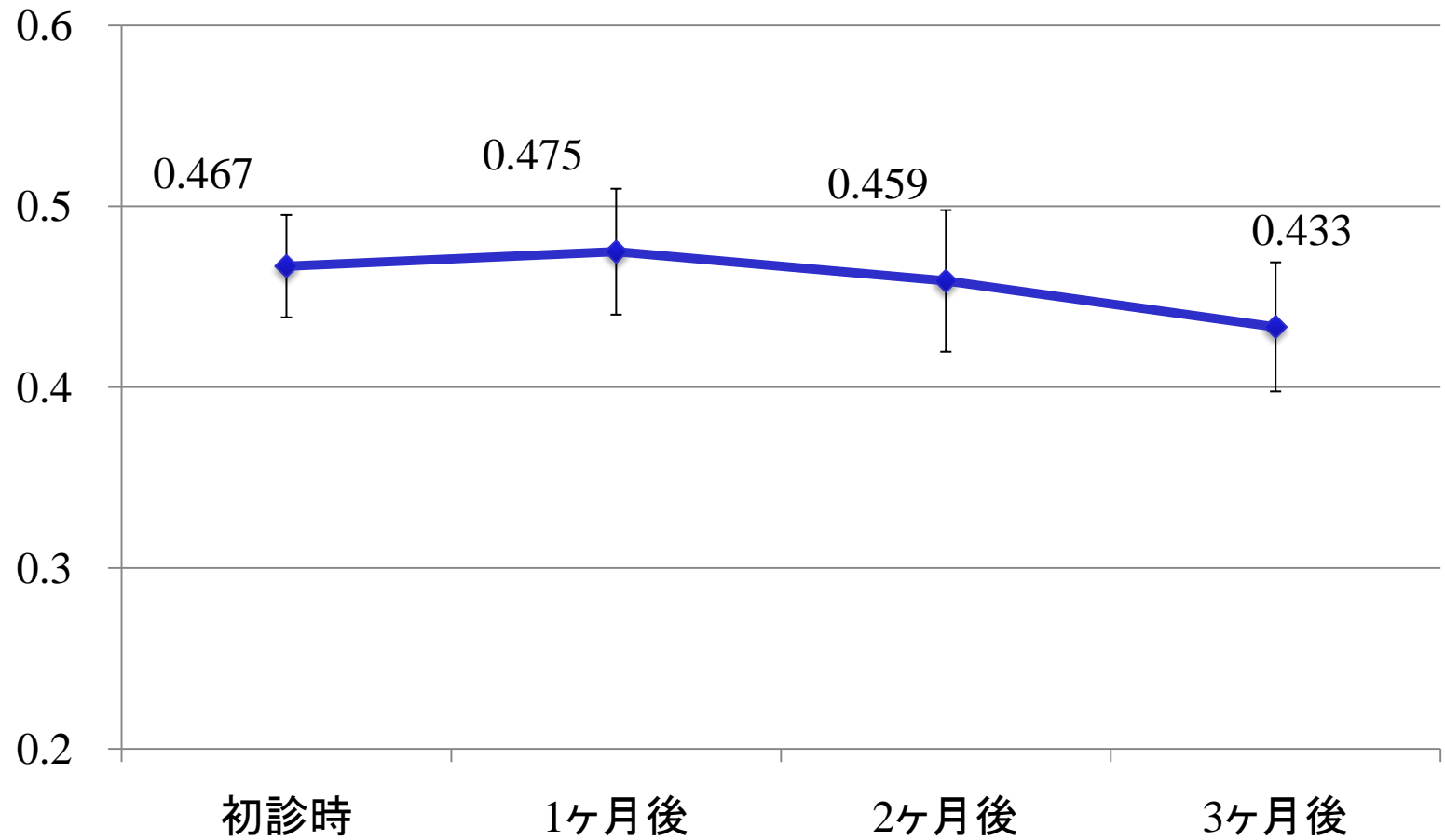
# Sua (mg/dl)



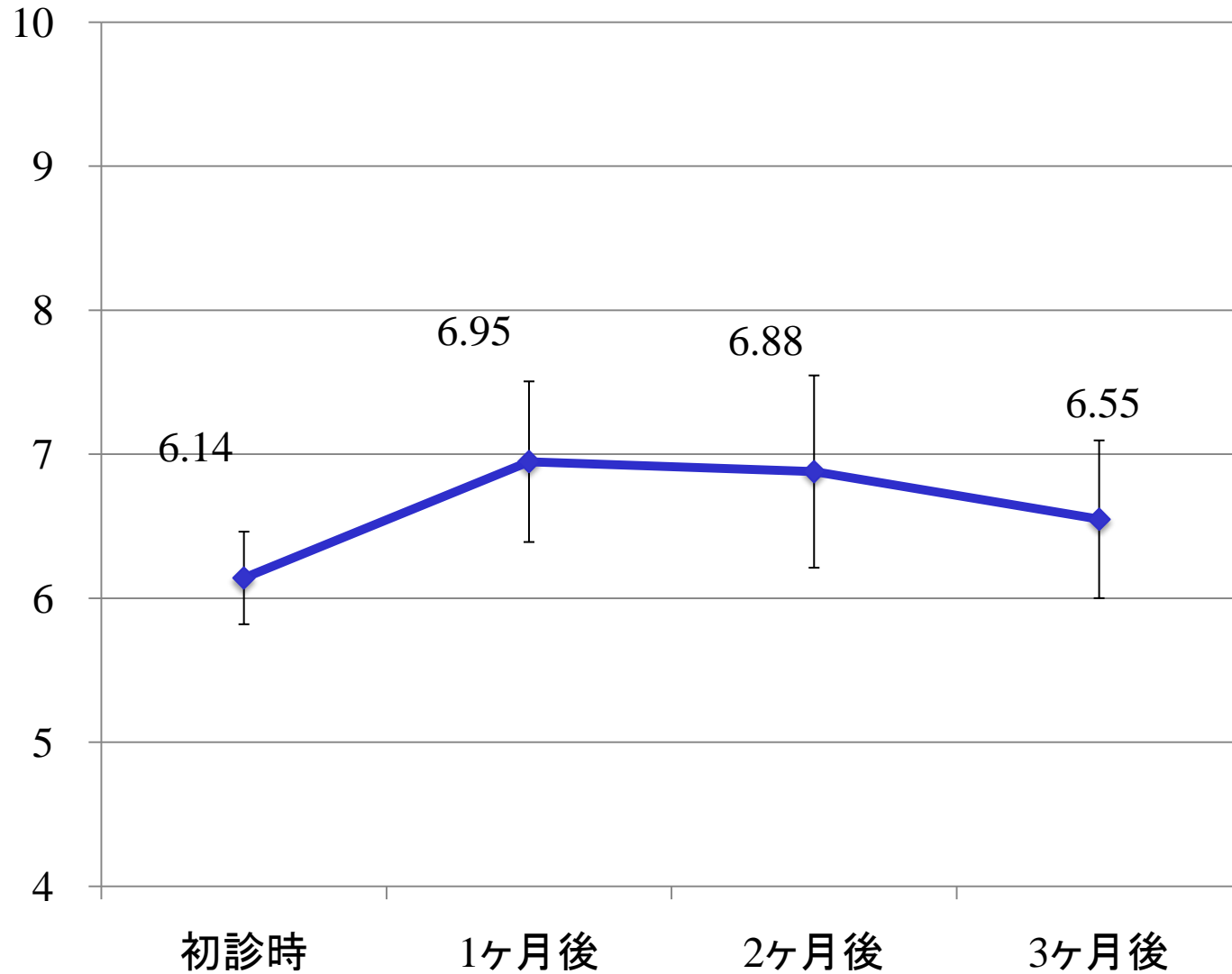
\* :P<0.01



# Uua/Ucr



# FEUA(%)



# 考察

- 尿酸降下薬にて治療中の患者にアンセリン50mgの投与を3ヶ月間行い血清尿酸値の低下が確認され尿酸降下薬とアンセリンの併用が有用であると考えた。
- 尿中尿酸・クレアチニン比(Uua/Ucr)、尿酸・クレアチニンクリアランス比(FEUA)では、有意差は無かったが、FEUAは僅かに上昇傾向を認め尿酸クリアランスの上昇が示唆された。
- 3ヶ月間の服用期間中で有害事象やその他の検査項目の明らかな変化は認めなかった。